

# 平成27年度ブロック会議 アンケート集計結果

平成27年5月



一般社団法人 Jミルク  
Japan Dairy Association (J-milk)

1. 開 会 13:30
2. 主催者挨拶
3. 協議・報告
  - (1) 3ヶ年計画、平成27年度事業計画 (45分)
  - (2) 牛乳乳製品食生活動向調査2014 (25分)
  - (3) アンチミルクへ対策への取り組み (25分)
  - (4) 「牛乳の日・牛乳月間」「乳和食」に関する活動と情報コンテンツのご紹介 (15分)
4. 全体質疑・意見交換 (15分)
5. 閉 会 16:00

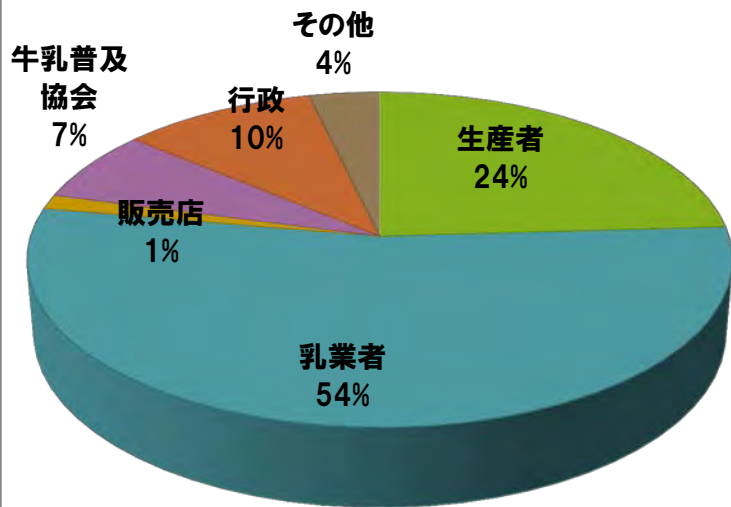
会場名	開催日時	開催場所
東京会場	4月10日(金)	ベルサール九段 ホール
岡山会場	4月14日(火)	ピュアリティまきび 2F白鳥
福岡会場	4月15日(水)	八百治博多ホテル A・B会議室
仙台会場	4月17日(金)	TKP仙台カンファレンスセンター 3B
札幌会場	4月21日(火)	KKRホテル札幌 5F「丹頂」
京都会場	4月23日(木)	メルパルク京都 5F「八坂」
名古屋会場	4月24日(金)	名鉄ニューグランドホテル 7F 扇の間

平成27年度ブロック会議 会場毎参加者数・アンケート回答者数

会場	参加者数			アンケート回答数			
	参加者数	事務局	合計	所属	人数	計	回収率 (%)
札幌 4/21	31	5	36	生産者	5	24	77.4
				乳業者	16		
				販売店	0		
				普協会	1		
				行政	0		
				その他	2		
				未記入	0		
仙台 4/17	31	5	36	生産者	6	26	83.8
				乳業者	13		
				販売店	1		
				普協会	2		
				行政	4		
				その他	0		
				未記入	0		
東京 4/10	97	17	114	生産者	17	59	60.8
				乳業者	29		
				販売店	1		
				普協会	4		
				行政	4		
				その他	4		
				未記入	0		
名古屋 4/24	33	5	38	生産者	6	33	100.0
				乳業者	23		
				販売店	0		
				普協会	1		
				行政	3		
				その他	0		
				未記入	0		

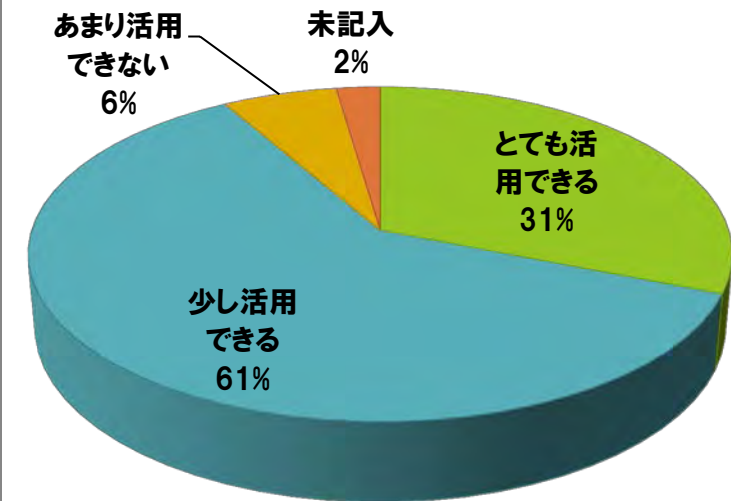
会場	参加者数			アンケート回答数			
	参加者数	事務局	合計	所属	人数	計	回収率 (%)
京都 4/23	29	5	34	生産者	4	24	82.7
				乳業者	11		
				販売店	1		
				普協会	0		
				行政	6		
				その他	2		
				未記入	0		
岡山 4/14	24	5	29	生産者	5	22	91.6
				乳業者	9		
				販売店	0		
				普協会	5		
				行政	3		
				その他	0		
				未記入	0		
福岡 4/15	38	5	43	生産者	9	28	73.7
				乳業者	15		
				販売店	0		
				普協会	2		
				行政	2		
				その他	0		
				未記入	0		
合計	265	47	330	生産者	52	216	81.5
				乳業者	116		
				販売店	3		
				普協会	15		
				行政	22		
				その他	8		
				未記入	0		

## アンケート1 所属をご記入ください



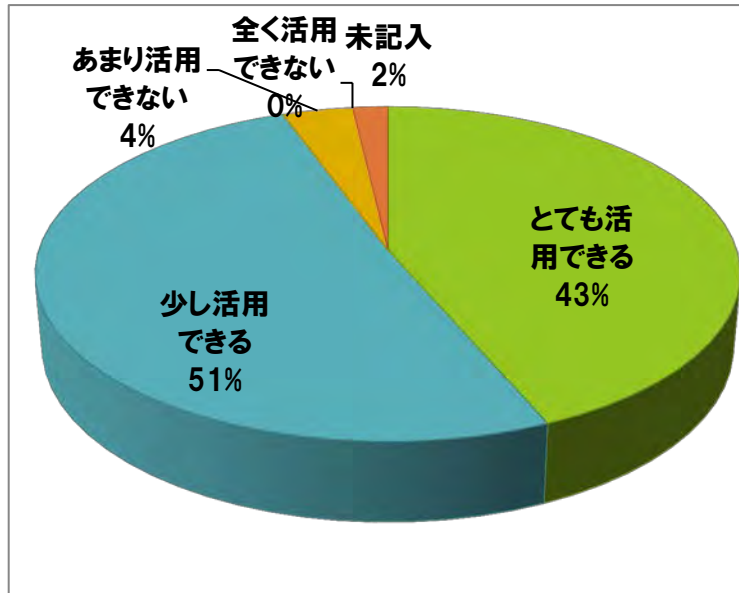
	札幌	仙台	東京	名古屋	京都	岡山	福岡	合計
生産者	21%	23%	29%	18%	17%	23%	32%	24%
乳業者	67%	50%	49%	70%	46%	41%	54%	54%
販売店	0%	4%	2%	0%	4%	0%	0%	1%
牛乳普及協会	4%	8%	7%	3%	0%	23%	7%	7%
行政	0%	15%	7%	9%	25%	14%	7%	10%
その他	8%	0%	7%	0%	8%	0%	0%	4%

## アンケート2 「Jミルクの取り組みについて(今後3年の方針と27年度計画)について今後の業務推進に活用できる内容があると感じましたか



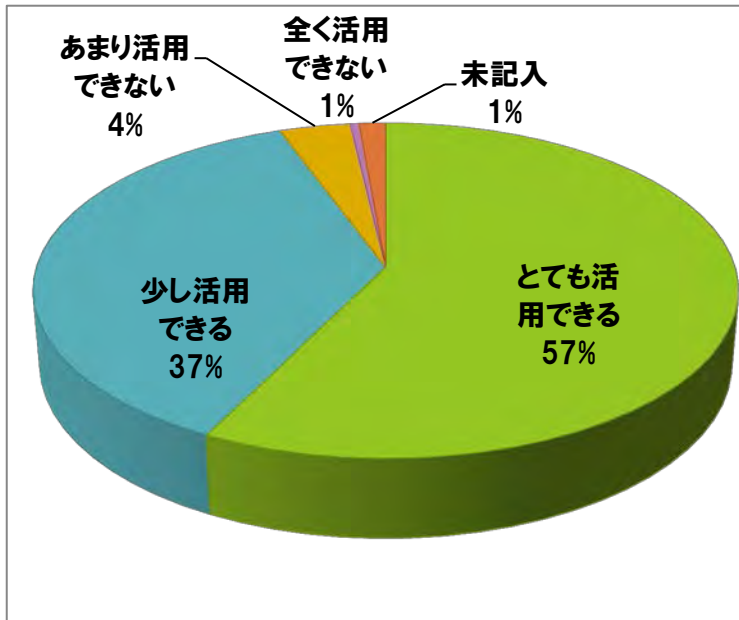
	札幌	仙台	東京	名古屋	京都	岡山	福岡	合計
とても活用できる	33%	50%	42%	6%	33%	14%	29%	31%
少し活用できる	63%	42%	47%	85%	63%	64%	71%	61%
あまり活用できない	0%	4%	7%	9%	4%	18%	0%	6%
全く活用できない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
未記入	4%	4%	3%	0%	0%	5%	0%	2%

アンケート3 「牛乳乳製品食生活動向調査2014」について今後の業務推進に活用できる内容があったと感じましたか



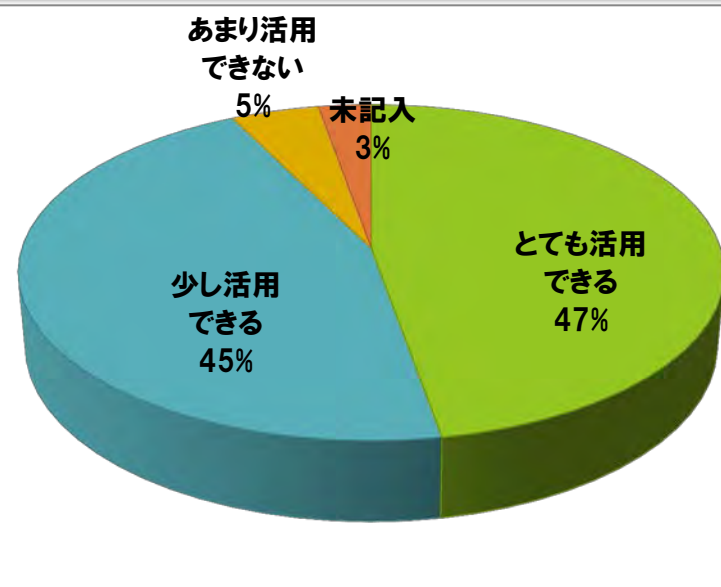
	札幌	仙台	東京	名古屋	京都	岡山	福岡	合計
とても活用できる	38%	58%	54%	30%	33%	27%	50%	43%
少し活用できる	54%	42%	41%	70%	67%	55%	39%	51%
あまり活用できない	4%	0%	3%	0%	0%	9%	11%	4%
全く活用できない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
未記入	4%	0%	2%	0%	0%	9%	0%	2%

アンケート4 「アンチミルクへ対策への取り組みについて」今後の業務推進に活用できる内容があったと感じましたか



	札幌	仙台	東京	名古屋	京都	岡山	福岡	合計
とても活用できる	58%	69%	54%	64%	38%	55%	64%	57%
少し活用できる	33%	31%	41%	33%	54%	32%	32%	37%
あまり活用できない	4%	0%	3%	3%	8%	5%	4%	4%
全く活用できない	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%
未記入	4%	0%	0%	0%	0%	9%	0%	1%

**アンケート5** 「牛乳の日・牛乳月間」「乳和食」に関する活動と情報コンテンツのご紹介について今後の業務推進に活用できる内容があると感じましたか



	札幌	仙台	東京	名古屋	京都	岡山	福岡	合計
とても活用できる	38%	58%	46%	58%	38%	45%	46%	47%
少し活用できる	54%	38%	46%	30%	63%	41%	50%	45%
あまり活用できない	4%	4%	3%	12%	0%	5%	4%	5%
全く活用できない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
未記入	4%	0%	5%	0%	0%	9%	0%	3%

**アンケート6** 生産流通やマーケティング関連事業のほか、Jミルクに対する皆様のご意見・要望、ご質問等自由記入

## Jミルク事業に関する意見等取りまとめ

### ●アンチミルク関連11件

うち5件が、

・アンチミルクへの対応必要、期待、推進、実施要請等、肯定・推進を期待するもの。

その他の意見としては

・最新の対応情報を速やかに伝達してほしい。そのためのメール配信システムの構築。

・牛乳の素晴らしさのアピール 否定を凌駕するプラス効果のPR。

・高齢者が分り易い情報発信。

・アンチ情報発信元は特定されているのか。

・本やネット以外でのアンチ情報発信の可能性。

・国産牛乳の安全性を訴えて海外と差別化。

・Jミルクからの対アンチミルク本の発刊が必要。

・新たなアンチ情報に対しての速やかな対応。生活者からの質問に対応でき安心できる。

### ●牛乳の日・牛乳月間関係5件

ポスターやパンフの配布に感謝を示し、積極的に利用したいとするもの2件。  
認知度を上げていく上で、今のやり方には限界があり、再検討が必要との見解を示すもの。  
具体的な提案

- ・サービスイベントの実施、牛乳の日の制定理由のアピール。
- ・中酪との連携(現状統一感が感じられない) 生処販が同じカラーを出す。
- ・酪農家への共感アップのためもっと動画を利用。
- ・牛乳の日・牛乳月間 でなくて 毎月1日が牛乳の日、毎月が牛乳月間。

### ●乳和食関連5件

- ・全農と中酪で展開企画申中なので参考になった。
- ・「乳和食」の上、商標化して会員に自由に使用できるようにしてほしい。
- ・消費拡大を図る上で将来性が見込める。
- ・さらなる宣伝活動、リーフレットなどのツール配布を希望
- ・指導者研修会の開催希望(特定地域)。
- ・「乳和食」を日本の食文化として浸透を図る。

### ●食生活動向調査関連3件

- ・利用価値が高い。有効活用している。消費拡大策立案の参考としたい。
- ・今後は酪農家も牛乳の消費状況を知る必要性があり有用。

### ●WEBサイトの活用(SNS・データベース等)関連12件

- ・今回の会議で有効活用できるデータソースの存在を知り有意義だった。活用したい。
- ・本WEBサイトを日々見る価値があると感じた。
- ・日々情報コンテンツを見ている余裕はない。
- ・消費者の牛乳消費情報は有意義。
- ・生乳生産予測データを有効活用している。
- ・幅広い情報発信をお願いしたい。随時の活動報告、冊子作成等をお願いしたい。
- ・ビッグデータによる購買状況(何を一緒に買うかなど)も知りたい。
- ・FacebookをはじめとするSNS活動を促進して、若い世代への乳製品普及を期待。

## ●学校給食関連 6件

- ・異味異臭問題は生産者(団体)とメーカー間で共通認識を持ちにくい場合がある。
- ・官能検査要員育成は是非進めてほしい。講習会などあれば参加したい。
- ・学校給食用牛乳事業補助金の減額を阻止して欲しい。
- ・学乳だけは無くしてはいけない。
- ・学校給食用牛乳存続に向けてJミルクの情報対策を期待。

## ●生乳生産基盤強化関係 6件

- ・増産に向けての具体策を示して欲しい
- ・需給見通し計画生産説明会は3ヶ所のみでなく、もっと多くの場で行うべき。
- ・TV・新聞等では酪農に関して後ろ向きな報道が多いが、もっと優良酪農家の声を届けるサイトが必要。それが酪農のイメージアップに繋がる。
- ・生産費、製造販売物流コストが増加している要因を客観的に世に示して欲しい。
- ・世界の食品需給、その中の乳製品の需給の予測を調査して国内需給率維持の重要性を示すべき。
- ・牛乳の価値が上がり、単価上昇につながるマーケティング活動を願いたい。
- ・スーパーでの牛乳の安売りに対する良案はないものか。

## ●その他

- ・食材の組み合わせ等により牛乳のさらなる効能効果を引き出せないものか。
- ・有用情報の常時提供。情報内容により配信すべき機関、施設の優先度が判るように情報を添付してほしい。
- ・会議を聴講してこれまで抽象的な印象だったJミルクの活動が見えてきた。
- ・「乳は安く提供されるべきものではない」という風土づくりの必要性。
- ・「学校サイドの理解醸成に向けた取り組み」(p.7)を具体的に提示してほしい。
- ・「酪農乳業への共感性の比率は上昇している」(p.15)を具体的に提示してほしい。
- ・過去の過剰な広報活動に比べて、現在のJミルクの活動は素晴らしい。

## ブロック会議運営に関する意見

- ・Jミルクの活動内容が理解できた。次回は意見交換の場を設けては？

## その他

- ・中酪、全酪連との連携強化をお願いしたい。